

事業評価書

補助事業名	宇座コミュニティ施設建設工事						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字長浜地内						
補助事業の成果の目標	<p>宇座公民館は1962年11月に竣工し、青年会や老人会等をはじめとする、地域活動の拠点の場として利用されてきた。</p> <p>近年では、放課後の子どもたちの居場所づくりにも取り組んでおり、地域住民に幅広く利用されている。</p> <p>しかし、経年劣化による雨漏りやコンクリートの剥離が著しく、また、動線に段差などの障害が多いことから、高齢者や子どもたちの安全な利用に支障をきたしている状況である。</p> <p>このことから、本事業により当該施設を建て替えることで、利用者の安全を確保し、住民の地域活動の充実に寄与する。</p>						
補助事業の内容	整備工事						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度				計
	事業費	円 15,120,000	円 117,700,000	円	円	円	円 132,820,000
	交付金額	円 9,000,000	円 66,447,000				円 75,447,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔事業の成果及び評価〕</p> <p>整備後、地域住民へアンケート調査を実施し、以下の結果が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「良くなった」、「非常に良くなった」という肯定的な意見が安全性については70%、利便性については72.5%の結果であった。以上のことから、利用者の安全性、利便性が確保することができたといえるので、本事業の成果は得られたものと評価した。 <p>〔地域住民への周知〕</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 村ホームページへ掲載済み。 (2) 広報誌については令和2年度7月号へ掲載。 (3) 工事の看板に「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と記載済み。 						
事業の改善措置及び今後の対応	定期的な点検や適切な管理を行うことで、今後も利用者の安全を確保し、地域コミュニティの拠点として、より活発な住民活動の充実に寄与する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	村道大湾7号線整備工事						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字大湾地内						
補助事業の成果の目標	<p>当該地区は、村道大湾～古堅線（一方通行）より県道16号線への接続道路が無く、通勤・通学及び生活道路として、地域住民の生活に支障を来しており、地元の大湾自治会から新設道路の要望が寄せられている状況である。</p> <p>このことから、本路線を整備することで、地域住民の通勤・通学及び生活道路として安全性、利便性を確保し生活環境の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式 用地買収 A=677.34㎡ 物件補償 4件 整備工事 車道、整備工事：L=125.0m、W=5.0m</p>						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和元年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度			計
	事業費	円 10,530,000	円 32,493,536	円 33,547,800	円	円	円 76,571,336
	交付金額	円 10,000,000	円 32,488,000	円 32,500,000			円 74,988,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【道路整備を行ったことによる地域住民の生活環境の改善の成果及び評価】 整備後、地元の大湾自治会を通して地域住民へアンケート調査を実施し、以下の結果が得られた。 ・「良くなった」、「非常に良くなった」という肯定的な意見が、安全性については約60%、利便性においては約74%の結果であった。</p> <p>以上のことから、道路の安全性・利便性が向上しているといえるので、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ掲載 2) 村広報誌へ掲載 3) 工事施工中の看板に調整交付金事業である旨を記載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安全・安心な道路交通を確保するため、現状を確認し、問題箇所があれば随時対策していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	読谷村多目的研修集会施設トイレ改修工事						
補助事業者名	読谷村長						
実施場所	読谷村字高志保地内						
補助事業の成果の目標	<p>本施設は、竣工後38年が経過し、高志保地区の地域活動の拠点の場として幅広い年代の方々に多く利用されている。しかし、既存のトイレは和式のみであり、また動線に段差があることから高齢者や子ども達の安全な利用に支障をきたしている状況であり、利用者からも改善を求められている。</p> <p>本事業によりトイレの改修を行うことで、施設利用者の安全を確保し、住民の地域活動の充実に寄与する。</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式 整備工事 改修工事 S=28㎡</p>						
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和元年度						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	1,188,000	11,550,000				12,738,000
	交付金額	950,000	10,000,000				10,950,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【トイレ改修を行ったことによる地域住民の生活環境の改善の成果及び評価】 整備後、周辺施設利用者へのアンケート調査を実施した結果、ほぼ全員から満足という回答をもらった。 また、その他の意見として下記のものもあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るいトイレに満足 ・2Fをお願いします。洋式ウォシュレットがいいです。 ・男女のトイレの数が多ければもっといいかも ・一般用も「ウォシュレット」の設置を望みます。 <p>改修したトイレの利便性には満足してもらえたことから本事業の成果は得られたものと評価したが、加えて2Fのトイレや便器の数等の要望が出ていることから、今後も施設の利活用をはかるため、地域住民と意見交換をしていく。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 村ホームページへ掲載 2) 村広報誌へ掲載 3) 工事施工中の看板に調整交付金事業である旨を記載 						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート調査の意見を踏まえ、今後も地域住民のニーズに応えながら、自治体の地域活性化を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	楚辺東公園落石防止整備工事						
補助事業者名	読谷村						
実施場所	読谷村字楚辺地内						
補助事業の成果の目的	楚辺東公園は、平成元年に整備され、地域住民の憩いの場として利用されている。 本公園の南側傾斜地について、平成24年頃から落石が生じており、一部の区域で規制を行うなど、公園利用に支障をきたしている状況である。 このことから、本事業により落石防止対策を実施することで、公園利用の安全を図るものである。						
補助事業の内容	実施設計 一式 落石防止工事 落石防止ネット設置工 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和1年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	4,602,000	7,092,000				11,694,000
	交付金額	4,000,000	7,000,000				11,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【事業の成果及び評価】 整備後、地域住民へのアンケート調査を実施し、安全性について、「良くなった」、「非常に良くなった」という肯定的な意見が寄せられた。以上のことから、利用者の安全性、利便性の確保をすることができたと言えるので、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 ・村ホームページへ掲載 ・工事施工中に「沖縄防衛局調整交付金事業」と文字記載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地元のニーズに適切に対応するよう努め、公園の維持管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	自動体外式除細動器(AED)購入						
補助事業者名	読谷村						
実施場所	読谷村内公民館及び自治会集会所 27箇所						
補助事業の目的	<p>本村のむらづくりの基盤となっている各公民館及び各自治会集会所に自動体外式除細動器(AED)を設置しているが、既存の機器は耐用年数を経過していることから、更新する必要がある。</p> <p>このことから、本事業により自動体外式除細動器(AED)を整備することで、地域の住民における救急救命力の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	物品購入 自動体外式除細動器(AED)						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	9,086,000					9,086,000
	交付金額	9,086,000					9,086,000
補助事業の成果及び評価	<p>【補助事業の成果及び評価】 村内各公民館及び自治会集会所(27箇所)にAED(自動体外式除細動器)を整備し、令和2年度には、AEDの操作方法について、自治会長を対象にビデオ講習会を実施した。 また、AEDの整備により地域住人の救急救命に対する意識が高まるとの期待の声も寄せられた。 以上のことから、地域の住民における救急救命力の向上が図れたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 読谷村HPへ掲載、読谷村広報誌へ掲載(7月号掲載)、設置AED等へ掲載を行った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	引き続き、機器の適正な管理を行うとともに、機器取扱の説明会や消防等と連携した救急救命講習を開催し、公民館職員及び地域住民の方々が設置した機器を使いこなせる取組みを行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						